

「HER2 陽性切除不能進行再発胃癌に対する S-1+Oxaliplatin+Trastuzumab (SOX+Tmab) 併用療法の第 II 相臨床試験における付随バイオマーカー研究 (HIGHSOX 付随研究)」に参加された患者さんへのお知らせ

HIGHSOX 付随研究に参加頂きありがとうございます。
上記の臨床研究に参加された患者さんおよびご家族の方にお知らせがあります。

本研究は、ハーセプチン併用化学療法が施行された患者さんを対象に、ハーセプチンの治療効果を予測する因子を同定する目的で計画されました。2015年6月より2018年1月までの期間に、合計49人の患者さんから付随研究への参加の同意を頂きました。ありがとうございました。

当初、診断時に採取された生検検体もしくは手術が施行された患者さんでは切除検体を用いて、PIK3CA という遺伝子の変異を調べる予定でした。しかし、ここ数年のこの領域における新しい発見や解析技術の進歩により、今回の解析方法をがん遺伝子パネル検査という方法に変更します。がん遺伝子パネル検査は、一度の検査で複数の腫瘍関連の遺伝子変異が解析できます。しかし、今回解析する遺伝子の一部に、遺伝性腫瘍に関連する遺伝子が含まれております。遺伝性腫瘍とは、家族に特定のがんが集積して発症する腫瘍で、親から子に伝わる特定の遺伝子の変異によって起こります。本検査で遺伝性腫瘍に関連する遺伝子変異が認められた場合、それが腫瘍だけに認められる変異なのか親から子に遺伝する体中の全ての細胞に由来する変異であるのか、本検査だけでは鑑別が出来ません。今回は、ハーセプチンの治療効果に関連する研究であること、遺伝性腫瘍に関連する遺伝子変異を検出することが本研究の目的ではないことなどから、変異が見つかった場合に遺伝性腫瘍の可能性が高い遺伝子群を除いて解析を行います。

本研究に参加された患者さんやご家族の方で、本研究の詳細をお聞きになりたい方、または参加頂きましたが同意を取り消したい患者さんやご家族がおられましたら下記までご連絡下さい。

2022年8月31日

連絡先 03-3520-0111
消化器化学療法科医長 若槻尊